

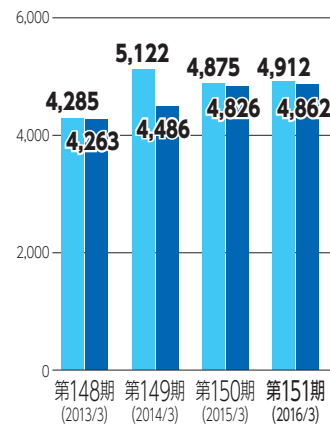
# 第 151 期

## 報 告 書

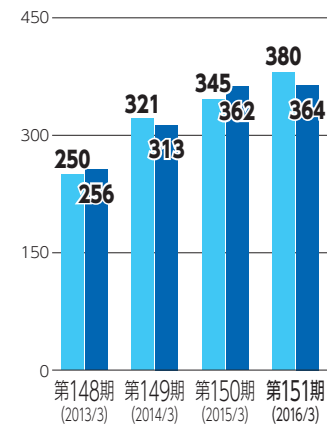
2015年4月1日から2016年3月31日まで

- P1 連結決算ハイライト
- P2 トップインタビュー
- P4 中期経営計画 (E-Plan2016)
- P5 セグメント別の概況/年間活動カレンダー
- P7 セグメント情報
- P10 コーポレートガバナンス
- P11 コーポレート最前線
- P13 連結財務諸表
- P14 会社概要
- P15 株式の状況・IRカレンダー
- P16 株主様へのご案内
- 裏表紙 身のまわりで活躍する荏原  
畠山記念館ご招待券

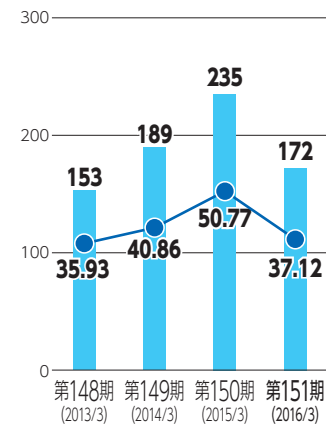
■受注高 (単位: 億円)  
■売上高 (単位: 億円)



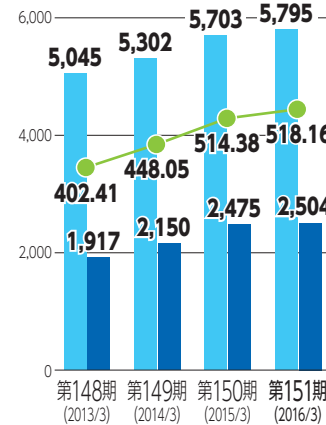
■営業利益 (単位: 億円)  
■経常利益 (単位: 億円)



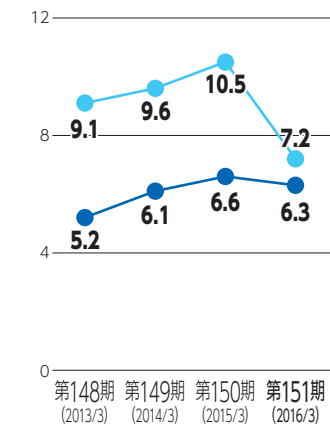
■親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 億円)  
●1株当たり当期純利益 (単位: 円)



■総資産 (単位: 億円) ■純資産 (単位: 億円)  
●1株当たり純資産 (単位: 円)



●自己資本当期純利益率 (ROE) (単位: %)  
●総資産経常利益率 (ROA) (単位: %)



## 連結業績ハイライト

売上高	4,862億円	前年度比	0.7% ↑
営業利益	380億円	前年度比	10.0% ↑
経常利益	364億円	前年度比	0.6% ↑
親会社株主に帰属する当期純利益	172億円	前年度比	26.8% ↓
1株当たり年間配当金	12.00円	前年度比	0.00円 →

内訳 中間配当金: 6.00円 期末配当金: 6.00円

中期経営計画の最終年度を迎え、  
目標達成に向けて経営課題を  
着実に実行してまいります。

代表執行役社長

前田東一



Q

第151期の営業状況を振り返り、  
総括願います。

第151期(2015年度)の事業環境は、海外では中国の景気減速が続く一方、米国や欧州は回復傾向を示し、また国内では公共投資が緩やかに減少したものの、民間設備投資に持ち直しの動きがみられるなど、景気回復はまだら模様となりました。

このような事業環境のもと、当社グループは風水力事業における受注・売上の減少をエンジニアリング事業及び精密・電子事業の増加でカバーし、全体としては前年度の受注高を上回り、売上高もほぼ前年度並みを維持しました。また営業利益は、精密・電子事業における大幅な伸びが連結全体の増益を牽引しました。

結果として当連結会計年度は、売上高4,862億35百万円(前年度比0.7%増)、営業利益380億11百万円(同

10.0%増)、経常利益364億71百万円(同0.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益172億54百万円(同26.8%減)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益の減少は、特別損失として訴訟損失引当金繰入額64億57百万円を計上したことなどによるものです。

事業セグメントごとの概況としては、風水力事業は、コンプレッサ・タービン事業において顧客の投資判断や発注の先延ばしが続いている影響が大きく、ポンプ事業と冷熱事業の受注も減少したことから、セグメント全体としては減収・減益となりました。

エンジニアリング事業は、大型案件として新規施設の建設工事3件、既存施設の基幹的設備改良工事1件、長期包括4件を受注しました。売上高は廃棄物処理施設の建設工事を中心に伸び、利益も増加しました。

精密・電子事業は、国内のイメージセンサメーカーや3次元NANDフラッシュメモリーメーカーの設備投資が増加し、海

外でもメモリーメカの半導体設備投資が順調に推移する中で、CMP装置の需要が回復し、新型めっき装置の受注も好調でした。これにより売上高が大きく伸び、円安効果も寄与して大幅な増益となりました。

Q

### 第152期の取り組みについて お聞かせください。

当社グループは、第152期（2016年度）を目標年度とする3か年の中期経営計画「E-Plan2016」を推進中です。本計画は、この3年を『経営基盤強化』から『成長』へと明確に舵を切る変換点」と位置付け、収益性を維持した規模拡大を目指しています。第152期はその最終年度として、以下の取り組みを進めていきます。

風水力事業では、海外市場における存在感を高めるべく、地域ごとのニーズに合った製品開発の推進と、グローバルな生産・販売体制及びサービス&サポート体制の充実を図り、事業範囲を拡げていきます。特にポンプ事業は、海外の建築設備向けを中心に、さまざまな市場向けで受注を増やしていく考えです。

エンジニアリング事業では、施設の建設工事から運転及び維持管理まで一貫対応できる利点をいかし、それぞれの技術を結集することで、公共事業のDBO（事業型案件）や基幹的設備改良工事、民間企業の発電事業施設への提案を積極化し、受注を拡大していきます。

精密・電子事業では、ロジック先端投資の回復が見込まれ、期後半にはメモリーメカの設備投資の復調も期待される中、その取り込みに注力しつつ、熊本工場の規模拡張（2016年12月稼働予定）により、需要の増加に対応していきます。また既受注案件を確実に売り上げ、増

収につなげるとともに、さらなる生産性向上を図ります。

以上を踏まえ、第152期の連結業績は、売上高4,800億円（当年度比1.3%減）、営業利益370億円（同2.7%減）、経常利益365億円（同0.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益210億円（同21.7%増）を見込んでいます。売上高営業利益率は7.7%となり、「E-Plan2016」の最終年度目標に掲げた「8.0%以上」に対して若干の未達となる予想ですが、可能な限りの収益改善に努めてまいります。

Q

### 株主の皆様へのメッセージを お願いします。

今回の期末配当は、予定どおり1株当たり6円とさせていただきます。これにより中間配当の同6円と合わせた年間配当額は同12円（前期同額）、連結配当性向は32.3%となりました。第152期は、中間配当・期末配当ともに当期と同水準の実施を予定しています。

なお当社は、2016年10月1日付で当社株式の売買単位を1,000株から100株に変更することとし、併せて、中長期的な株価変動等を勘案しつつ投資単位を適切な水準に調整することを目的として、当社株式5株を1株に併合することといたしました。株主の皆様並びに投資家の皆様にとって、より投資しやすい環境を整備するための施策としてご了承のほどお願い申し上げます。

当社グループは、引き続き経営基盤の強化と収益力の向上に努め、経営資源を効率的に運用し、企業価値の最大化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月

「E-Plan2016」では、第152期（2016年度）を目標年度とする3か年を『経営基盤強化』から『成長』へと明確に舵を切る変換点」と位置付け、高収益体質の構築と事業規模拡大を果たすための施策を遂行中です。

### グループ全体の数値目標及び実績

#### 重要経営指標の目標値

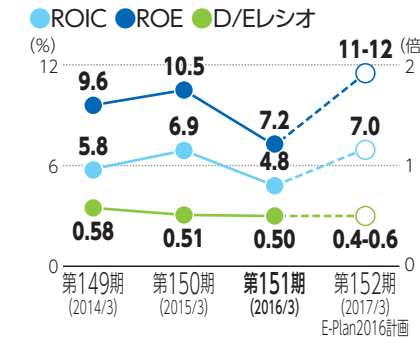
投下資本利益率（ROIC）= **7.0%以上**

事業遂行上の重要指標の目標値  
売上高営業利益率= **8.0%以上**

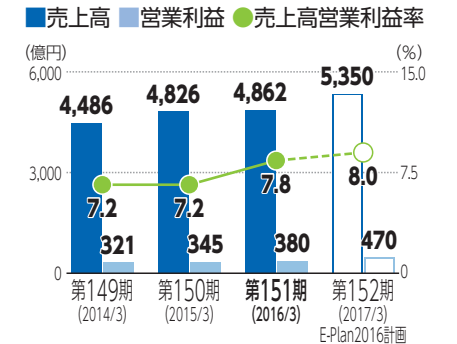
#### 2年目の進捗状況

- ROICは、特別損失の発生などの一過性の要因により親会社株主に帰属する当期純利益が減少したことにより一時的に下落。
- 売上高営業利益率は、風水力事業で外部環境の悪化により業績が低迷したものの、精密・電子事業の大幅な増益により、7.8%と上昇。

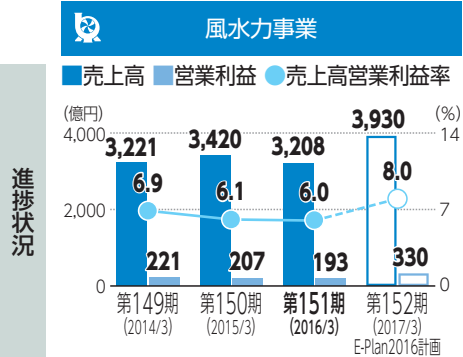
#### ROIC等の推移



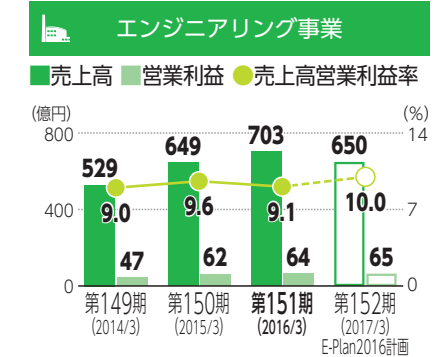
#### 売上高営業利益率等の推移



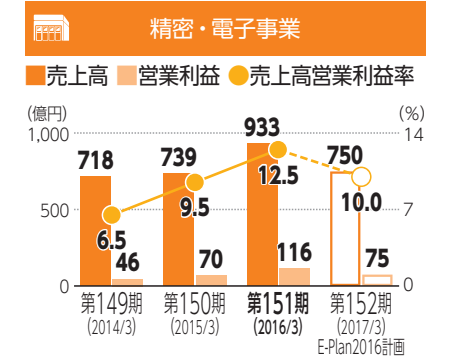
### 事業セグメント別の進捗と第152期の施策



海外では、地域ごとのニーズに合った製品開発の推進と、グローバルな生産・販売体制及びサービス&サポート体制の充実を図ることにより、事業範囲の拡大を進めていきます。また、国内では顧客ニーズに対応した販売・サービス体制の拡充を図ります。



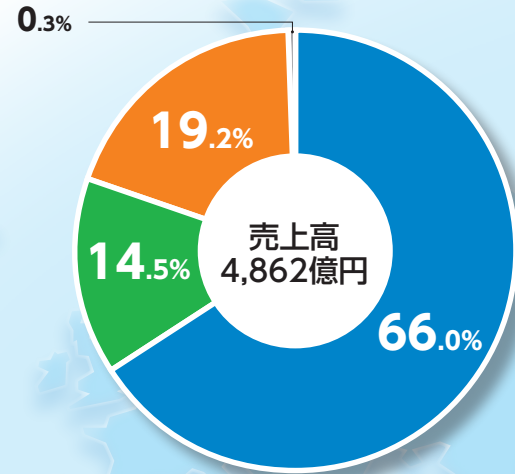
施設の建設工事（EPC）から運転及び維持管理（O&M）を一貫体制で行う当事業体の利点をいかし、EPCとO&Mそれぞれの技術を集結することにより、公共事業におけるDBOや基幹的設備改修工事、民間企業における発電事業施設など、顧客ニーズに合う提案を積極的にを行い、受注拡大を図ります。



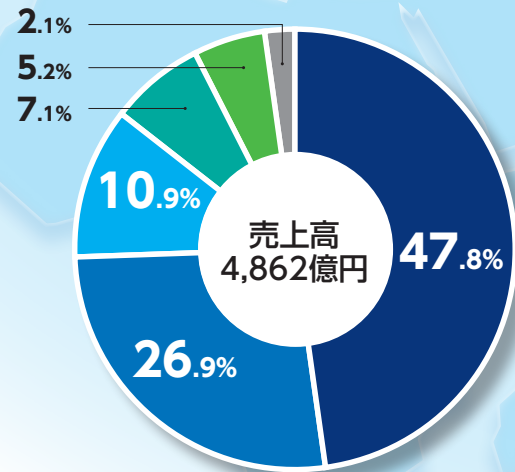
熊本工場の規模拡大を行い、主力生産機種であるCMP装置をはじめ、各種半導体製造装置の生産において、今後も様々な顧客ニーズに対応し、また生産革新活動による生産性向上にも引き続き取り組みながら、さらなる事業の拡大を図ります。



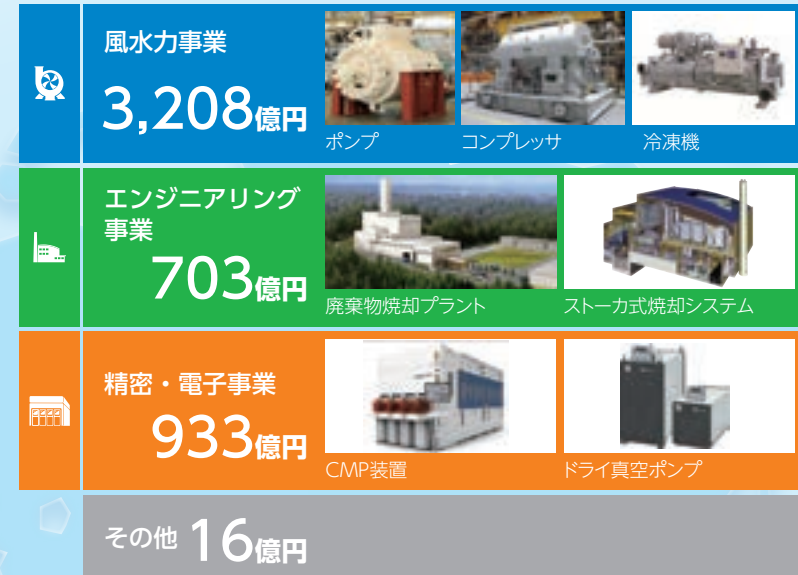
## ■ 事業別売上高構成比



## ■ 地域別売上高構成比



詳しい事業セグメント別情報はP7~9をご覧ください。



● 日本	2,326	億円
● アジア (日本以外)	1,309	億円
● 北米	530	億円
● 欧州	345	億円
● 中東	253	億円
● その他	97	億円

詳しい業績情報はWEBサイトへ <http://www.ebara.co.jp/ir/>

## ■ コーポレート

〈連結子会社〉 国内：3社 海外：1社 〈その他〉 国内：3社

## ■ 風水力機械カンパニー

〈連結子会社〉 国内：8社 海外：34社  
 〈その他〉 国内：3社 海外：15社  
 ●荏原冷熱システム(株) ●荏原エリオット  
 ●Ebara Pumps Europe S.p.A. ●Elliott Company 他

## ■ 環境事業カンパニー

〈連結子会社〉 国内：1社 海外：1社  
 〈その他〉 国内：14社 海外：2社  
 ●荏原環境プラント(株) ●青島荏原環境設備有限公司 他

## ■ 精密・電子事業カンパニー

〈連結子会社〉 国内：1社 海外：5社  
 〈その他〉 海外：1社  
 ●(株)荏原フィールドテック ●Ebara Technologies Inc. 他

## 第151期 年間トピックス

□ 全社 □ 風水力事業 □ エンジニアリング事業 □ 精密・電子事業

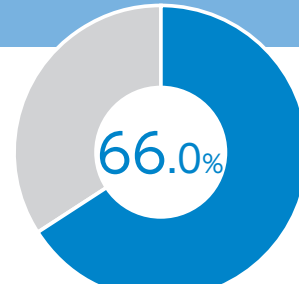
- |     |                                      |     |                                              |
|-----|--------------------------------------|-----|----------------------------------------------|
| 4月  | トッランナーモータ規制に対応した省エネルギー型ポンプのラインナップ拡充  | 11月 | 西濃環境保全センター 流動床炉基幹の設備改良工事を受注                  |
| 4月  | 遠軽地区広域組合ごみ焼却施設建設工事を受注                | 12月 | 新型めっき装置(UFP300A型)を発表                         |
| 5月  | 中国の発電所向けに世界最大級のボイラ給水ポンプを出荷           | 12月 | ブラジルのポンプメーカーを買収                              |
| 5月  | 中国にコンプレッサ・タービンのサービスセンターを設立           | 1月  | 「DBJ 健康経営格付」で最高ランクを取得                        |
| 6月  | 次世代型旋回流動床焼却システムが日本産業機械工業会会長賞を受賞      | 1月  | 中東石油精製施設向けの大規模な包括サービスを完工(コンプレッサ・タービン)        |
| 6月  | 北秋田市クリーンリサイクルセンター エネルギー回収推進施設建設工事を受注 | 2月  | 中国の化学プラント向けに世界最高水準の高効率新型両吸込渦巻ポンプを出荷          |
| 6月  | 第150期定時株主総会を開催 指名委員会等設置会社へ移行         | 2月  | 岡山市当新田環境センター 長期包括運営業務委託を受注                   |
| 8月  | コンプレッサ累計出荷台数1,000台達成                 | 3月  | インテルコーポレーションから「プリファード・クオリティ・サプライヤー(PQS)賞」を受賞 |
| 8月  | インドネシアのメンテナンス会社を買収                   | 3月  | 伊勢広域環境組合 ごみ処理施設 長期包括運営管理業務委託を受注              |
| 9月  | 世界有数規模の新川河口排水機場ポンプ設備の更新工事を完了         | 3月  | 四万十町廃棄物処理施設 包括的長期民間委託事業を受注                   |
| 9月  | インドにコンプレッサ・タービンのサービスセンターを設立          | 3月  | 弘前地区環境整備センター 長期包括管理運営事業を受注                   |
| 11月 | ミャンマーにポンプの支店を設立                      |     | 北アルプス広域連合 一般廃棄物処理施設建設工事を受注                   |
|     |                                      |     | 横手市クリーンプラザよこて建設工事を完工                         |



## 風水力事業

創業以来の主力製品であるポンプをはじめ、風水力機械製品・システムを事業の中核とし、長年培った技術と豊富な経験をもとに、生活・産業・社会インフラを支えています。

事業責任者(カンパニープレジデント) **大井 敦夫**



(事業別売上高構成比率)

### 主要製品

- ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷熱機械、送風機

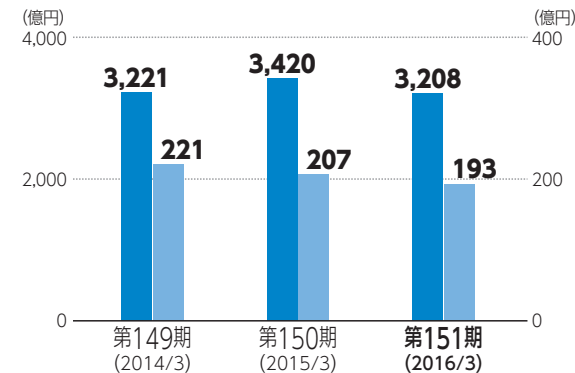
売上高 **3,208億円** 前年度比 **6.2%**

営業利益 **193億円** 前年度比 **6.9%**

### ポイント

- ポンプ事業は国内・海外ともに堅調に推移。
- コンプレッサ・タービン事業は石油・ガス関連プラント向けの製品が顧客の投資判断の先送りなどで低調のなか、サービス&サポート事業にも注力。
- 冷熱事業は中国以外の市場への製品販売体制を強化。

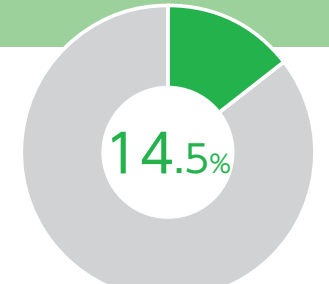
### ■ 売上高 / ■ 営業利益の推移



## エンジニアリング事業

固形廃棄物処理の分野で、施設的设计・建設から維持管理、運営までトータルソリューションを提供しており、事業活動を通じて循環型社会の形成に貢献しています。

事業責任者(カンパニープレジデント) **市原 昭**



(事業別売上高構成比率)

### 主要製品

- 都市ごみ焼却プラント、産業廃棄物焼却プラント、バイオマス発電プラント

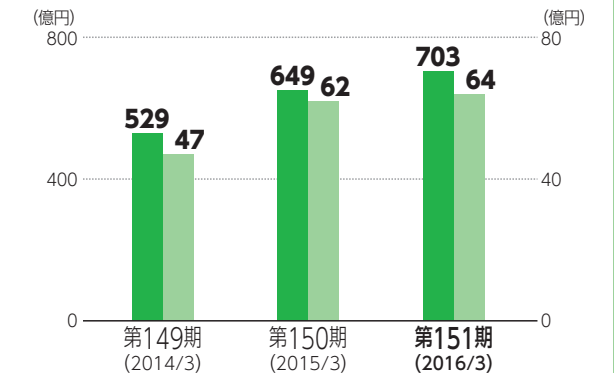
売上高 **703億円** 前年度比 **8.4%**

営業利益 **64億円** 前年度比 **3.2%**

### ポイント

- 廃棄物処理施設の更新及び維持管理(O&M)の発注量は例年どおり推移。
- 施設の維持管理は単年度の契約から複数年の長期包括への移行が増加。

### ■ 売上高 / ■ 営業利益の推移



サウジアラビア  
石油精製施設現場



分解中のコンプレッサ

## 中東石油精製施設向けの 大規模な包括アフターサービス完工

コンプレッサ・タービン事業において、サウジアラビアの石油精製施設向け包括アフターサービスプロジェクトを受注し、2016年初旬に完工しました。本プロジェクトは当社製のみならず他社製を含むコンプレッサ・タービン計17台の分解点検、部品供給に加え、改造・取替などを一括して請け負うものであり、同事業のアフターサービス史上最大級の受注となります。日本の袖ヶ浦工場と米国のJeannette工場が連携して部品を製造・供給し、現場では世界中から参集した200名近くのスタッフがプロジェクトに従事するなど、同事業が総力をあげて取り組み、計画通り完了しました。その結果、施設の生産能力向上に貢献することができました。

今後も同事業の総合力をいかし、お客様のニーズが高まる包括アフターサービスの提供に積極的に取り組んでまいります。



「弘前地区環境整備センター」外観写真

## ごみ焼却施設の 長期包括運營業務委託事業を受注

エンジニアリング事業は、弘前地区環境整備事務組合、伊勢広域環境組合、岡山市、四万十町より、長期包括運營業務委託事業を受注しました。既存の廃棄物処理施設を10年から15年間にわたり包括的に運営してまいります。

施設の設計・建設から運転管理・メンテナンスまで、一貫して対応できる体制を構築しており、永年培ってきた技術と長期運営のノウハウをいかします。今後も施設の安全で安定した運営を通じて、循環型社会の形成に貢献してまいります。

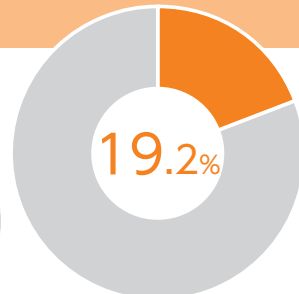




## 精密・電子事業

ナノテクノロジー時代の顧客ニーズに応じた半導体製造装置、コンポーネント機器の開発から販売・サービスまで行い、さらには次世代技術に対応する装置を開発・製造しています。

事業責任者(カンパニープレジデント) 浅見 正男



(事業別売上高構成比率)

### 主要製品

- 真空ポンプ、CMP装置、めっき装置、排ガス処理装置

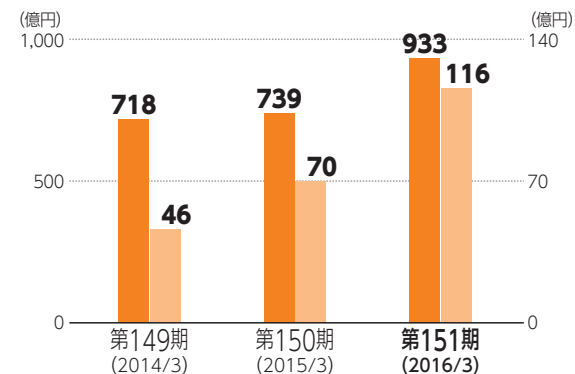
売上高 **933億円** 前年度比 **26.2%**

営業利益 **116億円** 前年度比 **65.7%**

### ポイント

- 半導体メーカーを中心に顧客の設備投資の意欲が旺盛な中、特にCMP装置の需要が急増。
- めっき装置の受注も好調。

### 売上高 / 営業利益の推移



UFP300A型

## 新型めっき装置 UFP300A型を発表

精密・電子事業は、主力製品である半導体実装用めっき装置の新型装置UFP300A型を発表しました。

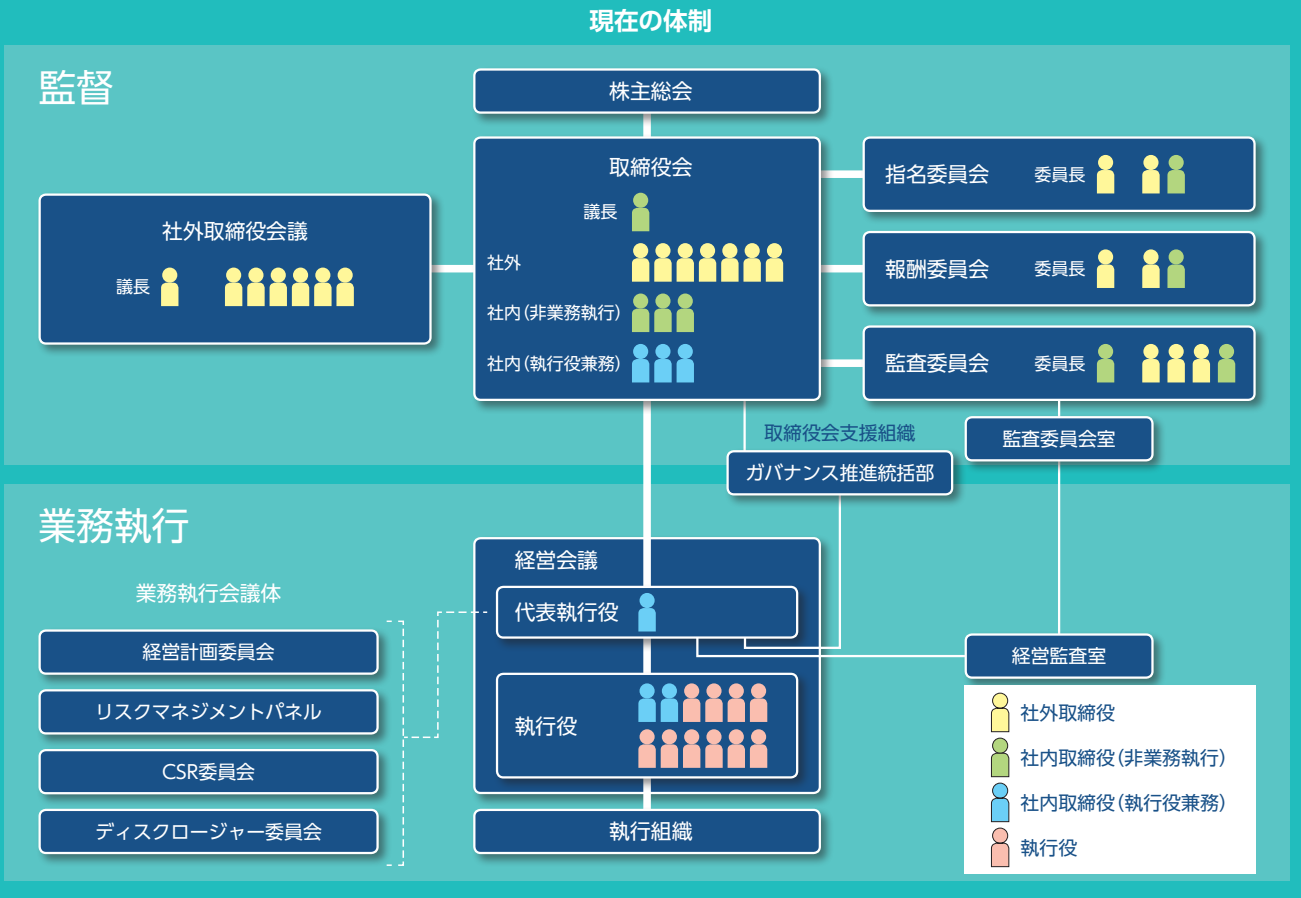
本新型装置は、搬送機構を強化して洗浄・乾燥ユニットを増やしたことにより、再配線アプリケーションにおいて100枚/時の優れた高生産性を実現しました。また、複数のめっき槽をモジュール化することにより、様々なお客様の生産計画やプロセス要求に対して柔軟に対応できるようにし、市場が求める三大性能(高プロセス性能と高生産性能、フレキシビリティ)を実現しました。

今後も半導体実装市場における優れた解決策になる製品・サービスの開発に一層注力してまいります。

※めっき装置：半導体チップの信号通信や電源供給の配線として必要となる金属材料の膜を、電解めっき手法を用いて千分の1ミリ単位で生成する装置

## 指名委員会等設置会社の体制について

当社は、コーポレートガバナンス体制の更なる強化の一環として2015年6月に監査役会設置会社から指名委員会等設置会社に移行し、新たな体制で運営しております。



指名委員会等設置会社への移行後の新体制では、独立社外取締役を含む非業務執行取締役（執行役を兼務しない取締役）中心の取締役会構成としました。

今後も継続的に①取締役会による経営の監督機能の強化と透明性の向上、②業務執行権限の拡大と競争力強化、③グローバルに理解されやすいコーポレートガバナンス体制の構築を図っていきます。

# 「世界トップクラスの産業機械メーカー」を目指して

## ～風水力事業における海外設立拠点～

風水力事業では、「グローバル市場における存在感(シェア)の拡大」を達成するため、成長を続ける海外市場において事業規模の拡大を進めています。

E-Plan2016期間中に設立した拠点及び、今後設立予定の拠点を紹介します。

- 第150期に設立した拠点
- 第151期に設立した拠点
- 今後設立予定の拠点

### オランダ

2014年7月  
ポンプ事業の拠点を設立

### インドに サービスセンターを設立

コンプレッサ・タービン事業のサービス  
&サポート体制の更なる拡充を図るため、  
2015年5月にインド/バンガロールにサ  
ービスセンターを設立しました。



### ミャンマーに支店を設立

ポンプ事業として製品及びサー  
ビス提供の充実を図るため、2015  
年11月にミャンマー/ヤンゴンに  
支店を設立しました。

### ベトナム

2015年1月  
ポンプ事業の拠点を設立

### 中国に

#### サービスセンターを設立

コンプレッサ・タービン事業のサービス  
&サポート体制の更なる拡充を図るため、  
2015年4月に中国/天津にサービスセン  
ターを設立しました。

### インドネシアの

#### メンテナンス会社を買収

経済発展に伴い産業が拡大する東南ア  
ジア地域におけるポンプ事業拡大の一つ  
として、2015年7月にインドネシアに本拠  
を置く、回転機械のメンテナンスサー  
ビス会社を買収。回転機械に対する総合的な  
サービス&サポート事業を展開し、現地  
において迅速なアフターサービス対応を  
行ってまいります。



### コロンビアに新会社を設立

ポンプの販売とサービス&サポートの強  
化を図るため、2016年3月に新会社を設  
立しました。

### ブラジルの

#### 陸上ポンプメーカーを買収

南米市場におけるポンプ事業を拡大す  
るため、2015年12月にブラジル国内を  
中心にポンプ製品の製造・販売を手掛け  
るポンプメーカーを買収しました。生産拠  
点及び販売網の強化・最適化を行い、両  
社のポンプ製品の相互販売を通じた拡販  
を進め、南米市場におけるポンプ事業を  
一層拡大させてまいります。



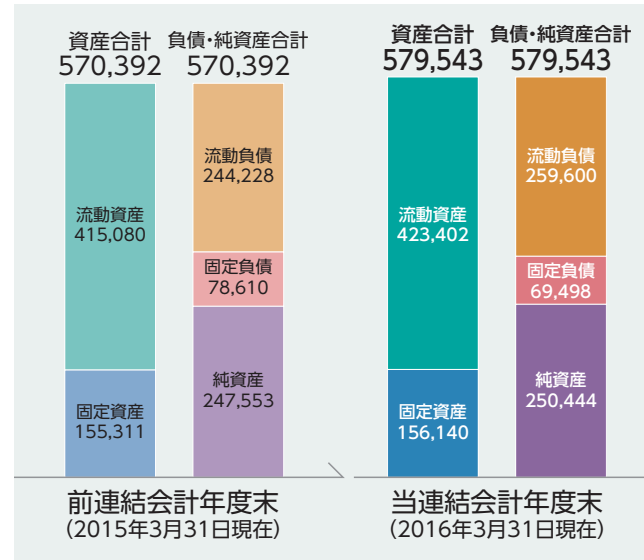
### ブラジル

2014年9月  
ポンプ事業の拠点を設立



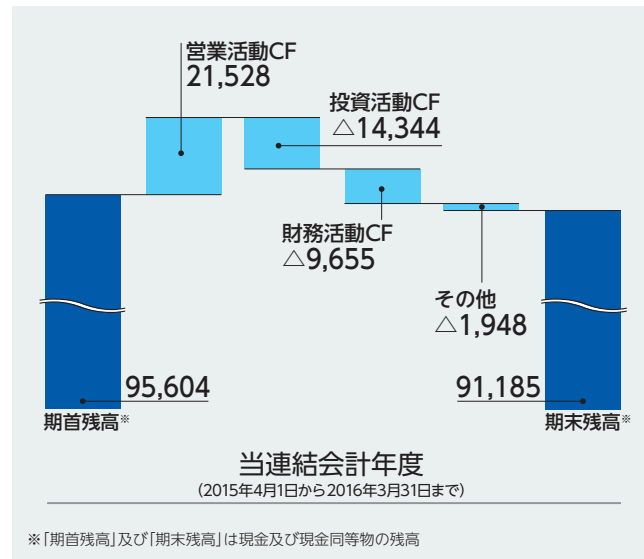
## ■ 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



## ■ 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)	当連結会計年度 (2015年4月1日から 2016年3月31日まで)
売上高	482,699	486,235
売上原価	356,424	353,344
売上総利益	126,275	132,891
販売費及び一般管理費	91,708	94,879
営業利益	34,567	38,011
営業外収益	4,090	2,357
営業外費用	2,399	3,897
経常利益	36,258	36,471
特別利益	916	2,049
特別損失	385	6,834
税金等調整前当期純利益	36,788	31,686
法人税、住民税及び事業税	8,439	9,581
法人税等調整額	3,024	3,207
当期純利益	25,324	18,896
非支配株主に帰属する当期純利益	1,743	1,642
親会社株主に帰属する当期純利益	23,580	17,254

(2016年3月31日現在)

## ■ 会社概要

- 創業 1912年 11月
- 設立 1920年 5月
- 資本金 687億6,051万923円
- 従業員数 4,022名(連結:16,270名)

● 役員 (2016年6月24日現在)

## 取締役

- 取締役会長 矢後 夏之助
- 取締役 前田 東一\*
- 社外取締役 宇田 左近
- 社外取締役 並木 正夫
- 社外取締役 国谷 史朗
- 社外取締役 松原 亘子
- 社外取締役 澤部 肇
- 社外取締役 山崎 彰三
- 社外取締役 佐藤 泉
- 取締役 藤本 哲司
- 取締役 辻村 学\*
- 取締役 大井 敦夫\*
- 取締役 澁谷 勝
- 取締役 津村 修介

## 執行役

- 代表執行役社長 前田 東一
- 執行役専務 辻村 学
- 執行役専務 大井 敦夫
- 執行役専務 小湊 憲
- 執行役専務 野路 伸治
- 執行役専務 木村 憲雄
- 執行役専務 浅見 正男
- 執行役常務 市原 昭
- 執行役 飯島 久
- 執行役 長峰 明彦
- 執行役 宮下 俊彦
- 執行役 勝岡 誠司
- 執行役 喜田 明裕

※は執行役兼務

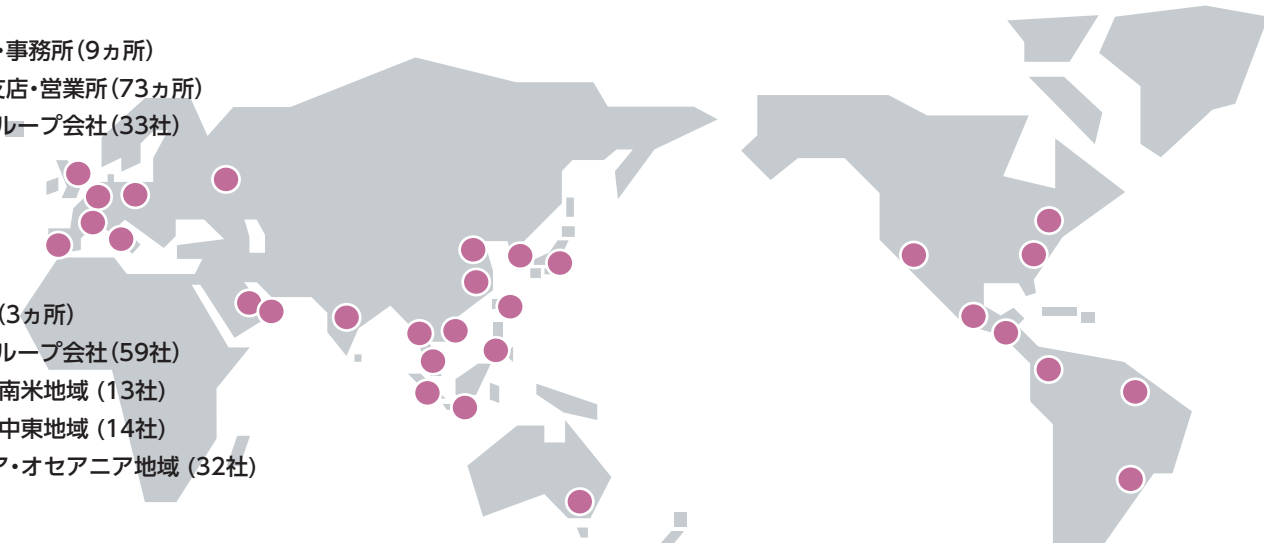
## ● 拠点

## 国内

- 事業所・事務所(9ヵ所)
- 支社・支店・営業所(73ヵ所)
- 国内グループ会社(33社)

## 海外

- 事業所(3ヵ所)
- 海外グループ会社(59社)
- ▶北米・南米地域(13社)
- ▶欧州・中東地域(14社)
- ▶アジア・オセアニア地域(32社)





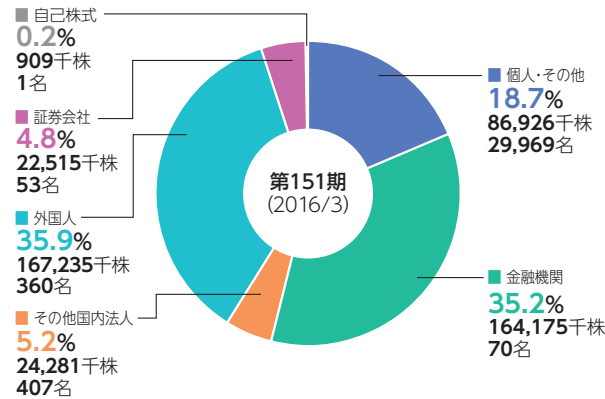
## ■ 株式の状況

- 発行可能株式総数 1,000,000,000 株
- 発行済株式の総数 466,044,596 株
- 株 主 数 30,860 名
- 大 株 主 (上位10社)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ICHIGO TRUST PTE. LTD.	34,974	7.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	34,840	7.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	26,414	5.7
THE BANK OF NEW YORK 133522	11,294	2.4
株式会社みずほ銀行	10,000	2.2
全国共済農業協同組合連合会	7,325	1.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,127	1.5
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	6,437	1.4
PICTET AND CIE (EUROPE) S. A.	6,434	1.4
BBH FOR BBHTSIA NOMURA FUNDS IRELAND PLC /JAPAN STRATEGIC VALUE FUND	6,307	1.4

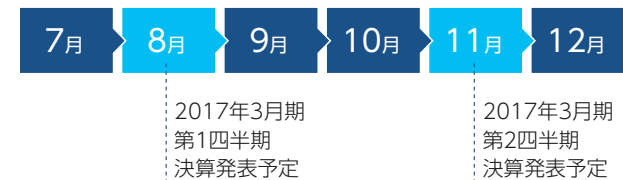
(注)持株比率は、自己株式(909,563株)を控除して計算しております。

## ● 所有者別株式分布状況



## ■ IRカレンダー

2016年



2017年



## ■ 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 基準日 3月31日  
その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
- 配当金受領日 3月31日
- 株主確定日 中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
- 公告方法 電子公告 <http://www.ebara.co.jp>  
ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 単元株式数 1,000株
- 上場証券取引所 東京証券取引所

## ■ 単元株式数の変更及び株式併合についてのご案内

当社は、2016年10月1日をもって、当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、株式併合(5株を1株に併合)を実施いたします。なお、この単元株式数の変更及び株式併合に伴う株主様による特段のお手続きの必要はございません。

## ■ 単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

## 買取請求

1,000株未満の株式を、当社に対して**市場価格で売却**できる制度です。

<例> 600株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。



## 買増請求

1,000株(単元株式)に不足する数の株式を、**当社から市場価格で買い増し、単元株にすることが**できる制度です。

<例> 600株を保有の場合、400株を買い増して、1,000株とすることができます。



## ■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ■ 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関するご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## ■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 株主様向け見学会のご案内

株主の皆様が当社へのご理解を一層深めていただけるよう、株主様向け見学会を開催いたします。この機会にぜひご応募ください。

## 1. 工場見学

## Aコース

荏原製作所  
富津事業所  
見学会

日 時	2016年10月21日(金) 13:00~16:00(予定)
対 象 者	2016年3月31日現在、当社株式を1,000株以上保有の株主の方 (小学生以上の同伴者様1名まで可)
集 合・解 散	荏原製作所 本社(羽田)
参 加 費	無料(ただし集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)
募 集 人 数	40名(同伴者含む)
応 募 締 切	7月29日(金)
当 選 発 表	8月下旬

## 2. 現場見学

## Bコース

風水力事業  
の現場見学会

日 時	2016年11月下旬13:00~16:00(予定)*
対 象 者	2016年3月31日現在、当社株式を1,000株以上保有の株主の方 (小学生以上の同伴者様1名まで可)
集 合・解 散	荏原製作所 本社(羽田)
参 加 費	無料(ただし集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)
募 集 人 数	15名(同伴者含む)
応 募 締 切	未定*
当 選 発 表	未定*

\*開催日時及び応募締切等の詳細については、決まり次第、当社WEBサイト (<http://www.ebara.co.jp>) にてご連絡させていただきます。

## 株主様向け工場見学会のご報告

2015年11月25日に当社富津事業所にて工場見学会を開催いたしました。

多数のご応募の中から抽選の結果、約40名の株主様及び同伴者様にご参加いただき、工場内やポンプ技能道場などを見学していただきました。

今後も株主様とのコミュニケーションを深める良い機会として継続して実施してまいります。



## 応募方法

郵便はがきに下記の必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

- ご応募多数の場合は抽選となります。厳正な抽選のうえ、当選発表及び見学内容の詳細はご当選者への発送をもって代えさせていただきます。
- 複数枚でのご応募はご遠慮願います。
- 見学会当日は施設内禁煙となっております。
- 階段の昇り降りなどお歩きいただく場合がございますので、あらかじめご了承願います。
- 荒天等、諸般の事情により内容が変更又は中止となる場合がございます。その場合は当選された株主様にご連絡させていただきます。
- 当社が見学会で撮影した写真は、ホームページや株主様向け報告書、社内報などに掲載・使用させていただきますのでご了承ください。

## 個人情報の取扱いについて

今回ご応募いただきました株主様及びご同伴者様の個人情報は、本見学会の実施以外の目的では一切使用いたしません。

## お問合せ先

株式会社荏原製作所  
SRグループ  
「株主様向け見学会」係

TEL:03-3743-6111(代表)  
9:00~17:00  
(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

## ●はがき記入要領●

52円  
切手

〒144-8510

株主様向け見学会係  
SRグループ  
株式会社荏原製作所  
東京都大田区羽田旭町11-1

## 株主様

- ①郵便番号
- ②ご住所
- ③お名前(ふりがな)
- ④年齢
- ⑤電話番号
- ⑥株主番号
- ⑦参加希望コース(A、B)

## ご同伴者様

- ①お名前(ふりがな)
- ②年齢
- ③株主様とのご関係

## WEBサイトのご案内

当社のWEBサイトでは、製品情報からIR情報まで皆様が当社を知っていただくための各種情報を発信しております。是非ご活用ください。

荏原製作所

検索

<http://www.ebara.co.jp>



▲トップページ

株主・投資家情報はこちら

海外展開の積極化に対応し、9言語に対応しています。



▲グローバルサイト

## 荏原と島山記念館

荏原の創業者である、島山一清(号・即翁)愛蔵の美術品を受け継いだ島山記念館は、昭和39年に開館以来、茶の湯の美術館として親しまれています。荏原グループは島山記念館を後援しています。

## 島山記念館の概要

島山記念館は、茶道具を中心に、書画、陶磁器、漆芸品、能装束など、日本、中国、朝鮮の古美術品を展示公開している私立美術館です。収蔵品は、国宝6件、重要文化財32件を含む約1,300件。春夏秋冬季節の移り変わりに合わせて年4回、作品を取り合わせて展示しています。



## 茶杓 銘落墨

千利休作 桃山時代

茶の湯を大成した千利休(1522~1591)作の竹製の茶杓。節が通常よりやや下の方にあるのが特徴。茶杓を入れる筒に記された連歌師里村紹巴の筒書によると、天正十二年、豊臣秀吉から侍医徳雲軒が拝領し、大名物の「打曇大海茶入」と共に用いたことが知られる。(秋季展に出品予定)

